



くすのき 浩幸

【はじめに】 令和8年3月定例会が終了しましたので、本議会での主な議論や議決内容についてご報告いたします。

今回の議会では、湖西市議会として初めて、常任委員会による「代表質問」が実施されました。湖西市議会には「総務経済委員会」「福祉教育委員会」、そして私が委員長を務める「建設環境委員会」の3つの常任委員会があり、それぞれがこれまで進めてきた調査研究のテーマに基づき、市の考え方を確認するとともに提言を行いました。

また、3月議会では令和8年度当初予算の審議も行われ、一般会計については予算特別委員会を設置し、議長を除く17人の議員により2日間にわたり審議を行いました。給食センターの整備や、避難所となる小中学校体育館の空調整備など、大型事業も予定されています。厳しい財政状況が続く中、市長が掲げる「暮らしやすさの向上」をどのように実現していくのか、その方向性について議論を深めました。

1

教育を基本とした
魅力あるまちづくり

2

行財政改革と持続
可能なまちづくり

3

働く仲間の声で
つくるまちづくり

輝くみんなの笑顔が
湖西市を目指します



湖西市議会
YouTube

建設環境委員会 代表質問

背景

建設環境委員会では昨年度より、人口減少社会における都市政策とカーボンニュートラルをテーマに調査研究を進めてきました。

その一環として、兵庫県加西市の移住定住対策、大阪府阪南市のアマモ増殖によるブルーカーボン施策を視察し、人口減少時代の都市政策や脱炭素政策の先進事例について学びました。

これらの調査研究を踏まえ、今回の代表質問では、湖西市が人口減少社会の中でどのような都市構造を描き、地域特性を生かしたカーボンニュートラル施策をどのように進めていくのか、市の基本的な考え方について確認しました。建設環境委員会では、今後も調査研究を継続し、12月議会での政策提言につなげていく予定です。

【主題1】人口減少社会における都市構造について

問1 人口減少社会において、湖西市は「働くまち」「住むまち」のどちらを目指すのか。

回答 湖西市は働くこと、暮らすことの両立に加え、「訪れ、応援されるまち」を目指す。都市構造は、コンパクト+ネットワーク型都市構造とし、駅周辺などの拠点に都市機能を集約する方針。

問2 空き家・空き地をどのように定住政策に活用するのか。

回答 空き家対策は活用の拡大、管理の確保、特定空き家の除却を基本方針とし、空き家バンクや改修支援などを通じて居住誘導の資源として活用する。

【主題2】地域特性を生かしたカーボンニュートラルについて

問1 湖西市の脱炭素政策の重点分野は何か。

回答 湖西市は製造業が多いため、産業部門の脱炭素が重点分野。排出量の可視化や設備投資支援など、事業者と連携した取組を進めている。

問2 下水汚泥を活用したバイオガス事業の今後は。

回答 実証実験ではバイオガス生成、液肥生成の技術的成果を確認。今後は生成物の活用、事業スキーム、産学官連携を進め、資源循環型事業としての可能性を検証する。

所感

人口減少社会のまちづくりとカーボンニュートラル政策は、いずれも「選択と集中」が重要です。都市政策では、市街地の密度維持、空き家の活用、公共交通の再設計が求められます。また脱炭素政策では産業部門の削減、バイオガス、浜名湖アマモ（ブルーカーボン）など地域資源を活かした取組を都市政策・産業政策と一体で進めることが必要です。人口減少の時代においても、湖西市が持続可能なまちとして発展できるよう、今後も建設環境委員会として調査研究を進め、政策提言につなげていきたいと考えています。



令和8年度湖西市の予算と主な事業

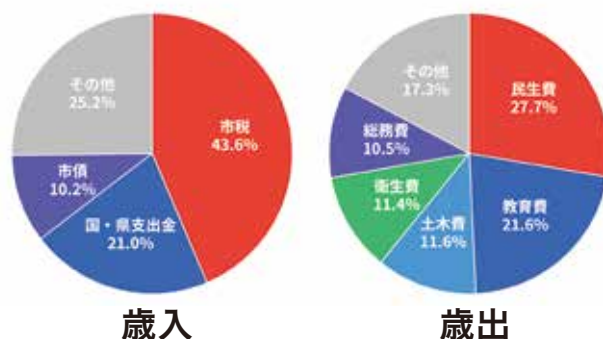
■ 予算総額 285.7 億円 市民一人当たり約 49 万円

■ 基金（預金）：100 億円

■ 市債（借金）：240 億円

湖西市は不交付団体を維持していますが、財政力指数は 1.062 と決して余裕のある水準ではありません。

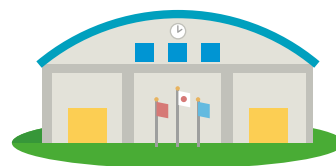
今後は病院事業や下水道事業の経営改善と、将来を見据えた持続可能な財政運営が重要です。



学校体育館の断熱化・空調整備

4,571万円

避難所に指定されている小中学校体育館について、断熱改修と空調設備の整備を進めます。災害時の避難環境の改善に加え、夏季の熱中症対策など学校施設の安全性向上を図ります。



地域公共交通の充実（コーちゃんバス・コーちゃんタクシー等）

1 億 4,884 万円

高齢化の進展や運転免許返納後の移動手段の確保に対応するため、デマンド型交通「コーちゃんタクシー」やコミュニティバスの運行を充実し、市民の日常生活を支える公共交通の確保を進めます。



学校給食センターの整備

26 億 9,160 万円

老朽化した給食施設の更新として、新たな学校給食センターの整備を進めます。衛生管理の向上と安定した給食提供体制を確保し、将来の学校再編にも対応できる施設整備を行います。



【新設条例】「空き家対策が一步前進」

湖西市空き家等対策協議会設置条例の制定

空き家対策を進めるため、専門家や地域住民で構成する協議会を設置し、危険な空き家（特定空き家）や管理不全空き家への対応方針などを検討します。

「管理不全空き家」「特定空き家」に指定され、自治体から改善の「勧告」を受けると、土地の固定資産税の優遇措置（住宅用地特例）が受けられなくなります。本条例により、空き家対策の公平性と実効性が強化されます。

管理不全空き家



- ・庭が荒れている
- ・軽微な修繕が必要
- ・管理が不十分

特定空き家



- ・火災の危険・近隣に悪影響
- ・倒壊の恐れ
- ・衛生上の問題

くすのき浩幸 暮らしの相談室 連絡先

< デンソー労働組合湖西地区 暮らしの相談室 >

〒431-0493 静岡県湖西市梅田390番地

TEL.050-1803-8151

FAX.053-555-7133

✉ hiroyuki.kusunoki.j4s@denso-wu.jp

✉ hirokusunoki23@gmail.com

🌐 ホームページ <http://kusunoki-h.com>



ホームページ

